

D-TIMES

[dementia times]

No.17

認知症ケア委員会

認知症勉強会

今年もやってまいりました！

【全職員対象、認知症勉強会】

今回は初の試みですが、我が委員会
内で動画の作成を行いました！

多方面の方から様々な反響を頂いて
おります。「もう一度見たい！」そうお
思いのアナタ！共有の認知症ケア委
員会フォルダ内にありますので、委員ま
で是非、お声掛け下さい！**遠慮なさ
らずに！**

……と自画自賛しておりますが、実
は動画の企画、撮影、編集と全てが一
から行い、難しさや改善点も多く、協
力下さった、委員のメンバーと一緒に
編集に付き合ってくださった高橋係長
にこの場を借りて感謝を示したいと思
います。**ありがとうございました。**

D-TIMES を定期購読ご希望の方は・・・

内線 310

“工藤”まで!!

認知症川柳

「食べてない！」

証拠が残る

口の横

慎



認知症勉強会風景



町田が生んだレジェンドシンガー

Shinji-シンジ-



認知症への言い換えについて。



認知症と呼ばれてから (工藤調べ)

日本において、この病はかつて痴呆（ちほう）と呼ばれていた。しかし、日本では、2004年に厚生労働省の用語検討会によって「認知症」への言い換えを求める報告がまとまった。これを受けて、まず行政分野および高齢者介護分野において「痴呆」の語が廃止され「認知症」に置き換えられた。各医学会においても 2007 年頃までにほぼ言い換えがなされている。（ウィキペディアより）

まだまだ記憶に新しい痴呆という言葉からの言い換え、しかし現在、着実に認知症という言葉自体は浸透しております。

その反面認知症に対して何か物々しい印象を与えてしまっているのではないかと私個人としては考えます。

「あらやだ、私ったらもうボケてさちやったのかしら？」とおっしゃるご利用者様との何気ない会話。

「私は、もしかしたら認知症になってしまったのかもしれない・・・。」とかしこまって相談される事は、あまり経験がありません。しかし今後はあり得るのかもしれない。その時自分は深刻なその相談に対して上手な返答や対応をできるのか・・・

病気自体は変わっていないはずなので、呼び名や世の中の印象が変わっても、元気に楽しくご利用者様と接していきたいですね。

まだまだどうなっていくかわからない認知症ケアですが、だからこそ！

明るく前向きにやっていますよ！



認知症に関しての「困った・・・。」や「どう・・・。」等、なんでもお話しがありましたら、各フロアの委員までどうぞ!!

東、西、ユニット、3F、リハ、身近な有資格者までお話ししております。